

公益社団法人日本地震工学会 第18回理事会議事録

A. 日時：2015年10月14日（水） 17時05分～20時00分

B. 場所：専売ビル 8F 第1会議室（東京都港区芝5-26-30）

C. 出席者：（会長）目黒公郎（副会長）志和由紀夫，中埜良昭，倉本 洋

（担当理事）副島紀代，吉見雅行，佐藤正行，藤川 智，大堀道広，高橋郁夫，中村いずみ，中村友紀子，室野剛隆，藤原広行，小檜山雅之

（監事）中村 晋，勝俣英雄

欠席：片岡正次郎，原田健二，楠 浩一，甲斐芳郎，澤田純男

オブザーバ出席：吹野事務局長，小松事務局員

D. 提出資料

資料 18-00 第18回理事会議事次第（副島理事）

資料 18-01 公益社団法人日本地震工学会第17回理事会議事録（案）（吉見理事）

資料 18-02 会務報告（2015年8月31日～2015年10月14日）（副島理事）

資料 18-03 会計報告（佐藤理事・原田理事）

資料 18-04 【メール審議】「セミナー「実務で使う地盤の地震応答解析」の予算案について」の結果報告（吉見理事）

資料 18-05 平成27年10月理事会 個人会員 入退会一覧（藤川理事）

資料 18-06 平成27年度 日本地震工学会委員会委員名簿 2015.10.14改訂（吉見理事）

資料 18-07 後援（3件）協賛（1件）名義使用依頼審議（吉見理事）

資料 18-08 公益社団法人日本地震学会との連携にかかる包括連携に関する協定についての資料（吉見理事）

資料 18-09 慶弔に関する細則の改定についての資料（副島理事）

資料 18-10 地震災害対応委員会資料（楠理事）

資料 18-11 次年度の予算案作成方針に関する資料（佐藤理事・吉見理事）

資料 18-12 会員の勧誘に関する資料（室野理事・藤川理事）

資料 18-13 日本学術会議関連の対応に関する資料（志波副会長）

資料 18-14 次年度の選挙日程に関する資料（藤川理事）

資料 18-15 2015年度日本地震工学会大会に関する資料（中埜副会長・澤田理事）

資料 18-16 平成28年度日本地震工学会年次大会会場および開催時期について（甲斐理事）

資料 18-17 情報コミュニケーション委員会からの報告資料（小檜山理事）

資料 18-18 会誌編集委員会からの報告資料（高橋理事）

- 資料 18-19 16WCEE 関連の動きについての資料（目黒会長）
- 資料 18-20 論文集編集委員会からの報告資料（大堀理事）
- 資料 18-21 事業企画委員会からの報告資料（中村（友）理事）
- 資料 18-22 会長特別委員会からの報告資料（目黒会長）
- 資料 18-23 論文賞選考スケジュールについての資料（倉本副会長）
- 資料 18-24 今後の予定についての資料（副島理事）

20 名中 15 名の出席があり、理事会が成立していることが確認された。

E. 議題

E 1. 報告事項

1) 第 17 回理事会議事録（案）確認（吉見理事 資料 18-01）

吉見理事より資料 18-01 を用いて、「第 17 回理事会議事録（案）」の説明があり、了承された。

2) 会務報告（副島理事 資料 18-02）

副島理事より、資料 18-02 を用いて会務報告が行われ、了承された。

3) 会計報告（佐藤理事 資料 18-03）

佐藤理事より資料 18-03 に基づいて会計報告が行われ、了承された。年次大会に伴う新規入会者からの会費が納入されれば、ほぼ予算で見込んだ会費収入が達成される見通しである。

4) メール審議（吉見理事 資料 18-04）

吉見理事より資料 18-04 に基づいて、セミナー「実務で使う地盤の地震応答解析」の予算案がメール審議で承認されたことが報告された。承認にあたって、今後同様な企画においては損益分岐点について記した資料を準備するよう意見があったこと、理事会全体で企画の成功についての責任を持つ必要性が提起されたことが報告された。

E 2. 議案

第 1 号 入退会者（藤川理事 資料 18-05）

藤川理事より資料 18-05 に基づいて入会者（正会員 28 名，学生会員 26 名），法人会員（2 社いずれも C 級）が報告され，異議無く承認された。退会者が 1 名発生したとあわせ，当会の会員数は名誉会員 29 名，正会員 1140 名，学生会員 106 名，法人会員 108 となった。

第 2 号 委員会委員の委嘱（吉見理事 資料 18-06）

吉見理事より資料 18-06 に基づいて委員会委員の委嘱について説明があった。若干の委員の所属の修正についての指摘がなされた上で承認された。

第 3 号 共催・後援・協賛等（吉見理事 資料 18-07）

吉見理事より資料 18-07 に基づいて後援・協賛行事についての説明があり，承認された。

・後援依頼（継続）：地盤工学会主催技術講習会「地盤・耐震工学入門講習会」（2015 年 10 月 23 日～24 日開催，主催：地盤工学会）

・後援依頼（継続）：第 20 回「震災対策技術展」横浜（2016 年 2 月 4 日～5 日開催，主催：「震災対策技術展」横浜 実行委員会）

・後援依頼（新規）：「強靱で安全・安心な都市を支える地質地盤-あなたの足元は大丈夫-」（2016 年 1 月 23 日開催，主催：日本学術会議地球惑星科学委員会地球・人間圏分科会，土木工学・建築学委員会学際連携分科会）

・協賛（継続）：安全工学シンポジウム 2016（2016 年 7 月 7-8 日開催，主催：日本学術会議総合工学委員会）

第 4 号 地震学会との協定案について（吉見理事 資料 18-08）

吉見理事より資料 18-08 に基づいて，会長懇談会での合意事項を具体化するための包括的協定案に関する説明があった。制度設計を具体化するよう意見があった。今後，地震学会の担当者と調整し，内容を具体化した上で理事会に諮ることです承された。

第 5 号 慶弔に関する細則の改訂（副島理事 資料 18-09）

副島理事より，慶弔に関する細則の改訂について説明があった。海外在住者への対応についての但し書きをつけることとし，承認された。

E 3. 懇談事項

5) 定款・規程・規則類の改定案について（副島理事）

副島理事より規程類の改定作業を進めている旨，口頭で説明が行われた。

6) 地震災害対応委員会からの報告（楠理事 資料 18-10）

欠席の楠理事に代わり、志波副会長より、資料 18-10 に基づいて地震災害対応委員会の活動状況について報告が行われた。

・6 学会災害調査等積立金規程について、活用しやすくするための改定を検討中である。具体案がまとまった時点で他学会に意見照会するとの説明があった。

7) 次年度の予算案作成方針について（佐藤理事・吉見理事 資料 18-11）

資料 18-11 に基づき、吉見理事から予算作成の考え方について説明があり、学会全体の予算の考え方について議論が行われた。

・会員としてのメリット、論文集の収支状況と課題、予算編成に当たっての長期的視点の必要性などの意見があった。

8) 会員の勧誘について（室野理事・藤川理事 資料 18-12）

室野理事より資料 18-12 に基づき会員の年齢構成等について現状分析の説明があり、会員増強策についての議論が行われた。

・事業計画とも関連する。会員の意見収集が必要である。本学会の会員構成の特徴に合った対策が必要等の意見があった。

→会員向けのアンケート調査の実施に向けて、総務を中心に検討を進めることとなった。

9) 日本学術会議関連の対応について（志波副会長 資料 18-13）

志波副会長より資料 18-13 に基づいて、日本学術会議関連の対応について説明があり以下のように承認された。

・「理学・工学系学協会連絡協議会」に参加し、代表委員は目黒会長とする。

・「防災学術連携体」への委員 2 名は、10 月末までに決定し、理事に報告する。人選は倉本副会長が担当する。

・2016 年 1 月 9 日開催の「第 11 回学術フォーラム」における本会を代表してスピーチを行う登壇者は目黒会長とする。

・同「第 11 回学術フォーラム」における「学会連携の取組み事例」の発表者については、川島元会長に打診する。

・第 5 回世界工学会議における日本学術会議の展示ブースへの出展について、当学会からの掲示物を事務局に集約し、先方に連絡する。

10) 次年度の選挙日程について（藤川理事 資料 18-14）

藤川理事より資料 18-14 に基づいて次期の会長候補と監事候補の選挙日程について従来よりも 2 ヶ月早める提案があり承認された。

→総務から事務局経由で役員候補推薦委員会に連絡する。

11) 年次大会（大会-2015）の準備状況について（中埜副会長・澤田理事 資料 18-15）

中埜副会長より資料 18-15 に基づいて 2015 年度年次大会の準備状況について説明があった。予算立案時よりも参加者が減る見込みであるため収支状況が変化するが、赤字にはならない見込みであることが報告された。また、基調講演者および横断セッション(A)の海外からの 2 名の講演者については「招待講演として参加費を無料」にすること、他の横断セッションの登壇者については原則参加費を徴収するが、行政関係者など特別な事由により事前にコーディネータから申し出があった登壇者については「参加費を免除」とすることが報告された。年次大会優秀論文発表賞の選考に当たっては、理事・監事も各々 4 セッションのうち 2 セッション以上の P S に参加し、評価に協力いただきたい旨依頼があった。

12) 次年度の年次大会（大会-2016）の開催日・会場について（甲斐理事 資料 18-16）

欠席の甲斐理事に代わり、中埜副会長より資料 18-16 に基づいて次年度の年次大会の大会会場および開催時期について説明があった。これを承け意見が交わされ、2016 年度の年次大会の会場と開催時期について、次の 2 案を候補として実行委員会にて検討することとなった。

案 1) 会場：高知工科大学永国寺キャンパス。開催時期：2016 年 9 月 26 日（月）-27 日（火）を軸に検討

案 2) 会場：高知市内。開催時期：2016 年 11 月 24 日（木）-25 日（金）。自治体との調整等を行う。

13) 情報コミュニケーション委員会からの報告（小檜山理事 資料 18-17）

小檜山理事より資料 18-17 に基づいて、Web 上に掲載されていた「国際シンポジウムおよびアブストラクト査読論文規程」について、実態に合わない状況となっているため規程の公開を停止している旨の報告があり、了承された。

14) 会誌編集委員会からの報告（高橋理事 資料 18-18）

高橋理事より資料 18-18 が提示された。

15) 16WCEE 関連の動き (目黒会長・楠理事 資料 18-19)

目黒会長より資料 18-19 が提示された。

16) 論文集編集委員会からの報告 (大堀理事 資料 18-20)

大堀理事より資料 18-20 が提示された。

17) 事業企画委員会からの報告 (中村 (友) 理事・片岡理事 資料 18-21)

中村 (友) 理事より資料 18-21 に基づいて、「Eーディフェンス 10 層 RC 造骨組みの加振実験見学会」の実施計画 (2015 年 12 月 11 日) について説明があり、承認された。

18) 会長特別委員会からの報告 (目黒会長 資料 18-22)

目黒会長より資料 18-22 が提示された。

19) 論文賞選考スケジュール (倉本副会長 資料 18-23)

倉本副会長より資料 18-23 が提示された。

20) 今後の予定について (副島理事 資料 18-24)

副島理事より資料 18-24 に基づいて、今後の予定について確認が行われた。

次年度の事業計画の策定、再来年の年次大会の会場決定など、早めに検討を進める必要があることが報告された。

次回予定：平成 28 年 1 月 6 日 (水) 16:00 より

記録担当：総務理事 吉見雅行

以上 この議事録が正確であることを証します。

平成 28 年 1 月 6 日

議 長 目 黒 公 郎

監 事 中 村 晋

監 事 勝 俣 英 雄